	10220102		所管課	総務部 収納課	事業年	丰度	令和4年度		事業区分	_
<sup>事業名</sup> 町税等徴収事務			根拠法令	地方税法·粕屋町税条例·粕屋町税条例施行規則 他		予算科目		款	項目	弗
	则		行政計画	なし	1/ 7	异件日	一般会計	2	2 2 図収	貝
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	2 健全な財政運	営のまちづくり	施策	(1) 持続す	可能な財政基	盤の	<b>強化</b>	

# 1. 事務事業の取組方向

#### 前期基本計画の主な取組と成果

○社会保障関連経費や公共施設の改修などの支出が増加する中、財源の確保と全庁的な視点での財源調整を行うことで適正な予算配分を行い、財源不足による基金の取崩しを最小限に抑えるよう努めた。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○今後も社会保障関連経費の増加、公共施設の改修など支出の増加が見込まれており、財源の確保と適正な予算配分に努め、基金取崩しに依存しない財源の確保や計画的な財政運営に取り組む必要がある。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

〇安定した行政サービスの提供のため、町財政基盤の根幹となる町税や料金の 徴収を強化する。

# 2. 実施計画(PDCAサイクル)

# 計画(Plan)

#### 事業日的

○受益者負担の公平性を確保しつつ、町財政基盤の根拠となる町税や料金の 徴収を強化することにより、将来にわたる安定した行政サービスの提供を図るためである。

# 計画(Plan)

#### 実施方法

○職員が専門知識を習得するため研修会等へ参加することによりスキルを向上させ、資力調査・滞納整理の強化に繋げる。また、生活再建型の滞納者に対してはファイナンシャルプランナーと連携し、生活状況改善に向けて指導を行って

○粕屋町のDX推進の一環で、税証明書のキャッシュレス決済サービスの導入 による町民の利便性の向上を図る。

# 実施(Do)

	事業費(千円)					
	年度	R3決算額	R4決算額			
<b>\</b>	歳出	32,902	34,853			
	歳入 (特定財源)	18,610	15,697			

### 実施(Do)

### 実施結果

○生活改善が必要な方へFP相談を積極的に働きかけて、生活全般の見直しを してもらい滞納整理を行った。

○差押総件数は昨年度と同様にコロナ禍で減少したが、最大限の感染対策を行いながら捜索に入るなど、可能な範囲で積極的に滞納処分を実施した。 ○8月より様々な支払方法に対応できるよう、税証明書のキャッシュレス決済 サービスを導入した。

### 評価(Check)

課題

○□ロナ禍により、滞納処分・捜索等を縮小せざるを得ない結果となった。預貯金照会電子化サービス
(pipit INQ)の利用可能金融機関が少ないため、利用金融機関を増やし、調査の迅速化と効率化を図り滞

納処分を進める必要がある。 〇公売会の開催が少ないことから、差押財産の換価を進めるためネットを活用した公売などを強化していく 必要がある。

〇キャッシュレス決済の利用者が少ないため周知が必要である。

# 改善(Action)

### 改善方法

○滞納処分、捜索等については、コロナウイルス感染症の位置づけが変更になっても予防対策をしながら実施する必要がある。

○公売や納付手続きのデジタル化、キャッシュレス納付の推進などを強化し、徴収率の向上及び滞納額の減少に努める。

# 3. 事業フロー(ロジックモデル)

### ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

○町税の徴収、納期限を過ぎても納付されていない場合、差押えなどの滞納処分の執行。

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○滞納整理の強化を行うことにより、町民の税金・料金に対する自主納付・自主納入の意識向上になり収納率の向上へ繋がる。

### ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○町税の徴収を強化することにより、将来にわたる安定した行政サービスの提供 を図られる。

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)	
滞納処分件数(税+料金)	目標値		760	800	
	実績値	1,287	1,107		
単位: 件/年	達成率		145.7%	0.0%	
	目標値				
	実績値				
単位:	達成率				

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
収納率(現年度分+滞納繰越	目標値		98.10	98.50
分)	実績値	98.83	99.35	
単位: %	達成率			
	目標値			
	実績値			
単位:	達成率			